

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月9日	
奈良県知事 殿	
提出者	
住 所 大阪市北区堂島浜一丁目 1 番 2 7 号 大阪堂島浜タワー10階	
氏 名 戸田建設株式会社大阪支店	
常務執行役員支店長 和久田 吉朗	
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 06-6676-8292 （建築品質環境管理部）	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	戸田建設株式会社大阪支店
事 業 場 の 所 在 地	区域内管轄事業場
計 画 期 間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事 業 の 種 類	0 6 総合建設業
②事 業 の 規 模	元請完成工事高 86,289 百万円 （2025年3月31日現在 大阪支店）
③従 業 員 数	515人（2025年4月1日現在 大阪支店在籍者）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添 1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ①梱包材の削減 ②工場加工の推奨 ③養生の削減 ④ALCプレカット		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ①リターナルブル缶・容器の採用 ②簡易梱包、ALCなどのプレカットの展開		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・木くず ・金 属くず ・廃プラスチック ・廃石膏ボード ・紙くず ・ 混合廃棄物
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今年度は上記分別の充実をはかる計画

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量し た 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量す る 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	過去に当社と委託契約を締結し、適正に処理を行った産廃許可業者の データから処理業者の選定に配慮している。定期的に現地確認を行って いる。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	電子マニフェスト対応可能な処理業者を尊重するとともに、今後優良認定業者からの選定を検討していく。締結した処理業者については定期的に現地確認を行う。		

別添 1 処理工程図

①産業廃棄物許可業者との処理委託契約の締結

- ・委託先の許可内容の確認
事業の範囲、許可者、許可の有効期限、
取り扱う産業廃棄物の種類、運搬車輛、
処理施設の種類、能力等、処理施設等の現地確認

②コンテナ設置

(分別ヤード設定)

③作業所からの産業廃棄物の発生

④委託契約した産業廃棄物許可業者（運搬・処分）への委託処理

- 電子マニフェスト利用業者の選定
(紙マニフェストの場合は交付、追跡調査、マニフェスト管理台帳記載、処理状況の確認)

別添 2 管理体制図

(管理体制図)

●支店担当者(建築:建築品質環境管理部、土木:土木工事事務環境管理課)

- ・作業所への助言
- ・処理計画書の審査
- ・必要に応じて随時の打合せ

●作業所長

- ・処理計画の作成
- ・処理業者の選定
- ・委託内容の確認
- ・処理委託契約書の締結

●作業所産廃担当者

- ・処理施設の現地確認、
- ・分別ヤードの整備、作業員への周知・指導
- ・マニフェスト交付
- ・処理状況の確認
- ・実績報告のための集計、報告

産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状:前年度(令和6年度)実績量
計画:今年度(令和7年度)計画量(目標)

単位:トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生利用を行った(行う)量		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った(行う)量		処理の委託									
	排 出 量				自ら熱回収を 行った(行う)量		自ら中間処理により 減量した(する)量				全 処 理 委 託 量		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		再生利用業者への 処 理 委 託 量		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
汚泥	89.60	80.64	—	—	—	—	—	—	—	—	89.60	80.64	0.00	0.00	89.60	80.64	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	6.60	5.94	—	—	—	—	—	—	—	—	6.60	5.94	6.60	5.94	6.60	5.94	0.00	0.00	0.00	0.00
コンクリート片	886.77	798.09	—	—	—	—	—	—	—	—	886.77	798.09	0.00	0.00	886.77	798.09	0.00	0.00	0.00	0.00
アス・コン片	225.33	202.80	—	—	—	—	—	—	—	—	225.33	202.80	0.00	0.00	225.33	202.80	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物(管理型)	8.25	7.43	—	—	—	—	—	—	—	—	8.25	7.43	8.25	7.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	1,216.55	1,094.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,216.55	1,094.90	14.85	13.37	1,208.30	1,087.47	0.00	0.00	0.00	0.00